

## 徳地森の子くらぶ② ～ポン太の森で秋を見つけよう～ (令和元年10月12日(土)～13日(日))

### 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】49名(男子26名,女子23名),法人ボランティア15名

### 【プログラムの内容】

#### 1日目

- 11:10 始まりの会
- 11:30 みんなで仲良くなろう(レクリエーション)
- 14:00 みんなで秋を見つけよう(どんぐりクラフト)
- 19:00 みんなで遊ぼう
- 20:10 入浴
- 21:00 就寝

#### 2日目

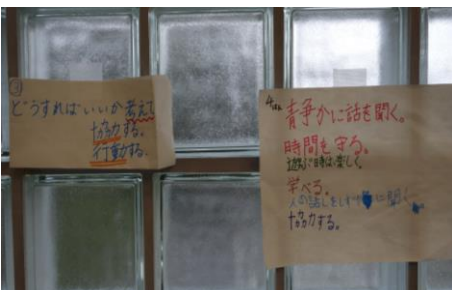
- 9:30 野外炊飯(ポトフ作り)
- 14:00 さよならの会
- 14:15 解散

### 「始まりの会」「みんなで仲良くなろう」



多くの子供たちは、初めてのキャンプで戸惑いも多く、緊張していた様子だった。みんなで仲良くなる時間では、学生ボランティアも一緒に色々なゲームを行った。子どもたちは、徐々に笑顔が出てきた。最後は緊張がほぐれ盛り上がった。

### 「どんぐりクラフト」「みんなで遊ぼう」



午後からは班での活動になるため、まず班の目標を決めた。午前中のゲームの効果もあり、友達の意見を大切にしながら目標を話し合っていた。

どんぐりクラフトでは、自然の家の周りにあるクヌギを使い、「どんぐりキーホルダー」と「どんぐりゴマ」を作った。特にコマは自分たちで回す速さを調整することができて、大盛況だった。

「みんなで遊ぼう」では、おもいっきり体を動かして、班の友達と交流を深めることができた。

### 「ポトフ作り」「さよならの会」



野外炊飯では、子供たちが進んで役割を見つけながら、一生懸命サツマイモ入りポトフ作った。肌寒い中での活動だったので、ポトフで心も体も温めることができた。片付けもみんなで協力して最後までやり遂げた。

さよならの会では、多くの子どもが感想を発表していた。

### 「みんなでハイポーズ！」



#### 【参加者の声】

「自然が楽しめた」「友達が増えて、仲良くなれた」「初めてのことを体験できた」などの感想があった。

#### 【成果】

スタッフ間の連絡を活発に図り、情報を共有することができた。そのため、一貫性をもって子供たちへの対応にあたることができた。特に、子供たちの意欲を大切にすることで自立心の素地を養えた。

#### 【課題】

意欲的に活動に関わろうとする子供が多くみられたので、一人一人が役割を見出せるプログラムを企画し、それぞれの意欲を活かした運営方法を考えていく。